

この資料は、福音社の Facebook に連載されていたものをまとめたものです。

誕生のきっかけ

2011年頃を境に、書店の児童書コーナーで「365日童話集」をよく見かけるようになりました。内容は、古今東西の子ども向けのお話……たとえば「日本昔話」や「イソップ童話」や「グリム童話」など、だれもが小さいころに聞いたことがある有名なお話で構成されています。このようなお話が365話。つまり、1日1話で1年分掲載されています。以降、各出版社から、類書の出版が続きましたが、最近ではマンネリを脱してか、目先を変えた「科学」や「伝記」などに焦点を当てた、変わり種「365日モノ」も出版されるようになっていきました。書店の児童書コーナーがこうした類書でにぎわう中、キリスト教の出版社では、どんなオリジナルの展開ができるのか。悩んだスタッフたちが口を揃えたのは、聖書に関連した子ども向けの「365日モノ」を作ることができないか、ということ。この書籍の誕生は、そんな熱い思いからはじまったのです。

まず、掲載するストーリーの選定からです。聖書物語だけで365日分をまとめることもできますが、それではオリジナリティが発揮できません。福音社としてのオリジナリティがある新しい「365日モノ」を作るためには、どんな方法があるのでしょうか。

ところで、福音社は今年で創立120年目になります。1940～1960年ごろにかけて、『子供の学園』という月刊誌を発行していました。『子供の学園』には、当時の子ども向けのお話がたくさん掲載されていました。これら

の古き良き財産をそのままにしておくのは、もったいない……。そこで、かつて執筆されたお話を、現代の子どもたちに向けてアレンジして物語を紡ぐ、という手法を検討したのです。こうして、歴史をさかのぼり、『子供の学園』だけでなく、福音社やその関連機関で発行した子どものお話を集めることになりました。あちらこちらから、過去の遺産がゆっくりと着実に集まりはじまりました。2012～2013年にかけての出来事です。

デジタルデータ化

たくさんの古い書籍が集まりました。多くは、月刊誌を1年分ずつ合本にして、保存されていたものです。この中から使えるお話を選出し、デジタルデータに起こさなくてはなりません。

当時の福音社には敷地内に自前の印刷工場があり、すべて活版で印刷を行っていました。活版印刷とは、昔ながらの印刷方法です。鉛などでできた「活字」とよばれる文字パーツを棚から1文字ずつ拾い、枠の中にそれらを原稿どおりに配置してインクをつけ、紙に転写します。つまり、デジタルデータが存在しないのです。

まず、古い本をパソコンの脇に置いて一からテキスト入力をはじめましたが、通常業務と並行して、2～3人で400話近いテキストを入力するには、まったく手が足りません。そこで、OCR（Optical Character Recognition）という、スキャナで読み取った誌面の画像から文字を識別してデジタルデータに変換する方法に切りかえました。

ところが、古い資料だったこともあり、活版印刷特有



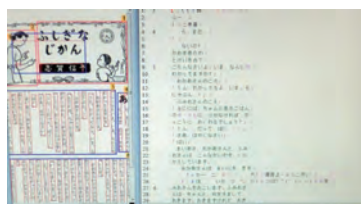
1 番古い『子供の学園』



過去の資料



当時の福音社印刷工場での作業風景



OCR の作業

のつぶれた文字や、紙の経年劣化によるゴミや染みなどが原因で、文字の誤認識やスペースや改行のバラつきなどがでてしまい、変換率の精度は65～70%程度にまで落ちてしまいました。それでも、入力と比べて作業効率はかなり良くなり、OCRで読み込んだテキストデータと元原稿の突き合わせをしながら、原稿整理を続けていきました。

こうして、あっという間に2013～2014年の1年間で過ぎていったのです。

リライト作業

さあ、文字のデジタルデータ化の作業と並行しながら、物語のリライト作業がはじまりました。

本書は、1日1ページという設定だったため、お話は1,200字以内に統一しました。それ以下の文字数にすると、物語らしく紡ぐことができませんし、それ以上の文字数にすると、誌面の文字サイズがかなり小さくなります。集まった原稿は、800字程度から2,000字を超えるものまでさまざま。

このリライト作業は、全体の文章の統一性をもたせるためにスタッフ1人によって行われました。元原稿の内容をできるだけ変えずにわかりやすい文章に練り直す……という作業にとっても苦労しました。こうして、2014年秋から2015年春まで約半年ほどかけて366話分のリライト作業がようやく完成したのです！

ところが……ここまで進んだ作業の途中で、「現代とかけはなれた過去の物語」の割合が多すぎるという意見があがり、仕上げられた物語はなんと半分程度まで不採用となってしまったのです……。

さて、ここからまた再出発です。別の原稿を探し、再

度リライト作業を開始しました。また、物語の言いたいところだけ残し、お話全体を書き直したものも少なくありません。こうして、新しく書き下ろされた物語が1つ1つ追加されることになりました。

最初の366話の原稿が出来た段階で、妥協することもできたかもしれません。でも、スタッフたちは強く突き動かされるように精力的に作業を継続しました。困難な道を選びましたが、今となっては、これがみこころだったのだと確信しています。

最初の366話よりもはるかに練り直された、最終版の原稿が完成したのは、2015年の秋。本来ならすでに書籍が出版されていなければならない時期を過ぎていました。

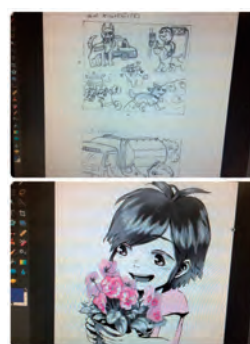
イラスト

さて、今回の目玉のイラストについても少しお話ししましょう。

本書では、1日1話のストーリーすべてに挿絵をつけるという、これまでにない試みをしようと計画しました。読み聞かせをする際に、小さな子どもたちがその挿絵を元にお話のイメージをふくらませることができるようにと考えたからです。でもイラストは1枚仕上げるのにも大変な労力と時間がかかります。弊社では、編集スタッフが挿絵を描くこともありますが、今回の制作枚数にはとても人数が足りません。そこで、多くの新しいイラストレーターに協力をおおぐことになりました。その中心となったのは、20～30代の若いクリスチャンの青年たちです。中には、絵を描く仕事は初めてという若者もたくさんいました。社会人、看護師や教師、美大生、学生などその背景はさまざまです。



リライト作業



イラスト原画



本書は1話完結のため、さまざまなタッチのイラストでも一度に扱うことができるという利点がありました。こうして、多くの若者たちに、イラストを描くというタラントを活かして神さまのために働く「実体験」をしてもらうことができたのです。非常にタイミングよく、「イラストの仕事がしたい」とPR書類を送ってきた若者もいましたし、こちらから、依頼した人物もいます。どんなルートであっても、与えられたすべてが神さまのご計画だったのでしょう。

1950年代後半に描かれたベッドタイムストーリーズの代名詞である下村テルサ氏のイラストをはじめ、20～60年前のイラストももう一度使わせていただくことができました。出稿直前に出来上がったストーリーのイラストは、依頼に出す時間的猶予がなかったため、弊社スタッフが心を込めて描きました。

こうして、総勢20名のイラストレーターの手によって、366枚のイラストを、無事に描き上げることができたのです。

新作書き下ろし

本書のために書き下ろした新作ストーリーについてもお話ししましょう。

まず、「豆知識」のジャンルには、13話の新作ストーリーがあります。「聖書ってなあに?」「教会ってどんなことするの?」「イエスさまってどんなお方?」など、子どもたちが、キリスト教について理解を深めることができるような内容をあつかっています。クリスチャン家庭の子どもへの信仰継承のために、またキリスト教に興味を持たれた方への説明にも役立つことでしょう。

番号	ジャンル	月	日	タイトル	収録本
6	5 こころ	4	5	入ってなんのために生まれてきたの?	書き下ろし
18	27 こころ	4	27	人は死んだらどうなるの?	書き下ろし
19	28 こころ	5	5	いのちめしあはれ。どうしたらいいの?	書き下ろし
14	57 こころ	5	27	苦手な子どもが仲良くなくちゅうけない?	書き下ろし
66	66 こころ	6	5	がんばってもうまくいきません。もたなのかな?	書き下ろし
68	68 こころ	6	27	自分よりできる人がうらやましい	書き下ろし
17	96 こころ	7	5	もずもんの夢	書き下ろし
128	128 こころ	8	6	どうしたら自分を好きになれる?	書き下ろし
188	188 こころ	9	5	自分自身が変われば、全てが変わる	書き下ろし
180	180 こころ	9	27	なかなか夢が叶わないとき	書き下ろし
188	188 こころ	10	5	負けたくないをやる方法	書き下ろし
210	210 こころ	10	27	人はなぜ人をこころすの?	書き下ろし
216	216 こころ	11	2	仕事は楽しいでやるもの	書き下ろし
219	219 こころ	11	5	得意なことでやってみよう	書き下ろし
249	249 こころ	12	5	こまごま人を助けて	書き下ろし
271	271 こころ	12	27	あなたは大切だ	書き下ろし
280	280 こころ	1	5	どうすれば夢がかなえられるの?	書き下ろし
311	311 こころ	2	5	失敗を恐れない	書き下ろし
338	338 こころ	2	27	こころにニュースばかりなのはなぜ?	書き下ろし
340	340 こころ	3	5	笑顔が笑顔を生む	書き下ろし
381	381 平和	6	28	世界平和の日	書き下ろし
114	114 平和	7	23	きみの笑顔のために	書き下ろし
184	184 平和	9	1	防災の日	書き下ろし
174	174 平和	9	21	世界平和の日	書き下ろし
189	189 平和	10	6	国際協力の日	書き下ろし
275	275 平和	12	31	ペンタのゆめ	書き下ろし
287	287 平和	1	22	11月11日の水曜	書き下ろし
18	18 豆知識	4	18	聖書ってなあに?	書き下ろし
37	37 豆知識	5	7	教会ってどんなことするの?	書き下ろし
149	149 豆知識	8	27	イエスさまってどんなお方?	書き下ろし
162	162 豆知識	8	30	死後のいのち	書き下ろし
175	175 豆知識	9	22	こころと聖書の関係	書き下ろし
205	205 豆知識	10	22	昔ばなしの聖書版	書き下ろし
221	221 豆知識	11	7	教会ってどんなところ?	書き下ろし
282	282 豆知識	11	18	12人の弟子さん	書き下ろし
252	252 豆知識	8	9	読書取組の紹介	書き下ろし
259	259 豆知識	12	15	赤ちゃんイエスさまへのお祈り	書き下ろし
283	283 豆知識	1	9	国にふれる十字架	書き下ろし
318	318 豆知識	2	12	重のルールと神さまのルール	書き下ろし
329	329 豆知識	2	23	聖書の時の仕事	書き下ろし
344	344 豆知識	3	9	クリスマスとバプテスマ	書き下ろし

書き下ろし

次に、「こころ」のジャンルには、20話の新作ストーリーがあります。このジャンルは、聖書の道德教育がテーマです。「こんなときどうするか」「こういう気持ちになったときどうするか」「こういう問題をどう考えるか」といった現代を生きる子どもたちの疑問に対して、聖書の教えをもとに回答しています。

執筆の際には、「人間ってなんのために生まれてきたの?」「どうすれば幸せになれるの?」「こわいニュースばかりなのはなぜ?」といった質問を一問一答のアンケート形式で用意し、若い牧師たちに、聖書を用いて、回答してもらうようお願いしました。その後、届いたアンケートを編集者がひとつにまとめあげ、新作のストーリーを作り上げました。子どもたちへの道德教育が必要とされる今、編集部イチオシのジャンルでもあります。

最後に、「平和」のジャンルについても、お話ししたいと思います。こちらは、新作ストーリーが7話と少なめではありますが、どれも渾身の1作です。

このジャンルは、ADRA Japan (アドラ・ジャパン)の取材がもとになっています。ADRA Japanは、キリストの精神を基盤とし、世界各地において著しく損なわれている「人間としての尊厳の回復と維持」を実現するために、国際協力活動をおこなっている団体です。

366話まであと少し……という段階になって、行き詰っていた編集チームにある牧師がヒラメキをくれたのです。「ADRAがあるじゃないか!」すぐに、ADRA Japanに取材を申し込み、事務所に向かいました。そして、小学生向けに行っているという「平和教育」の出張授業の資料をもとに部長さんから話を伺いました。授業を受けたあとの子どもたちの感想についてインタビューしたり、ネパールで実際に働いている女性スタッフにもお話を聞くことが出来ました。こうして、新たに「平和」というジャンルが仲間入りしたのです。

これ以外にも、ことわざの意味を理解するために、物語仕立てにした「ことわざ」や、「聖書物語」「自然・動物」「〇〇の日」といったジャンルにも新しいお話が加わり、全部で70話以上の新作が追加されました。

こうして、新たなストーリーを携えて、ようやく366話の物語が完成したのです。

2色刷り

印刷には、いろいろな方法があります。フルカラー印刷(4色印刷)、2色印刷、モノクロ1色印刷が主な種類です。「4色印刷」は、印刷原稿をCMYK(シアン・マゼンタ・イエロー・ブラック)の4色に分解して印刷する方法です。「2色印刷」は、そのとおり、2色のインク

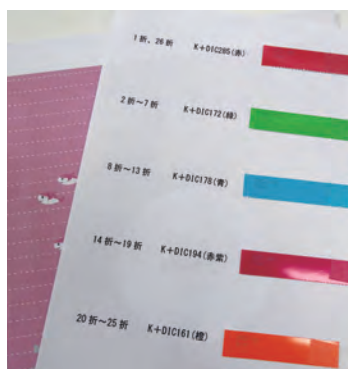
で印刷することを言います。

現在では、フルカラー印刷と2色印刷の料金に大きな金額の差はなくなってきました。しかし、色ごとに刷版（印刷準備）が必要なので、ページ数の多い印刷物の場合には金額が高くなります。書店で販売されているいわゆる『365日読みもの』は、多くがフルカラー版です。多少単価が高くても、フルカラーで作成するか？ それとも2色印刷にして単価を安くするか。これは難しい決断でしたが、本を購入する中心層が子育て世代であることを考え、単価を安くするほうに決定しました。

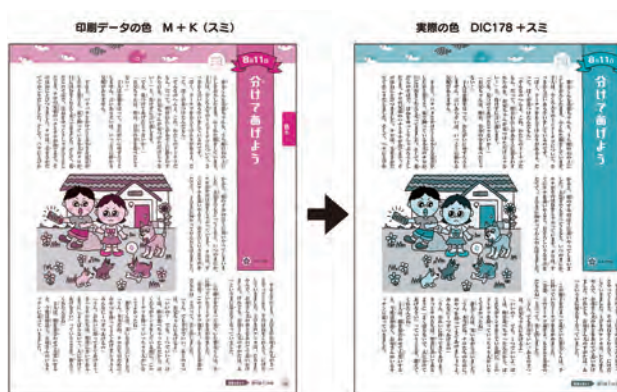
2色印刷用の印刷データは今回はすべてM（赤）とK（黒）で作成しました。この状態にした上で特色と黒色のかけあわせを指示するのです。例えば、特色をDIC172の色インクに設定すると、「緑色」と「黒色」の2色印刷ができあがるのです。

イラストレーターの中には、2色印刷用データの作成が初めての方もいらして、ご苦労をおかけしました。手描きの方には、線画をいただき、それをコピーしたものに着色箇所の指定をしてもらいました。もちろん、こちらで自由に着色させていただいたイラストもあります。

実際のカラーとは違う「赤」と「黒」版のため、制作段階では、出来上がりのイメージをするのが難しいので、レイアウトが80%完成した段階で、2色印刷シミュレーション



DIC（インク）の
特色指定



2色印刷シミュレーション

ションをして画面で色味を確認しながら、作業を進めました。

カラーが1色だとさびしいので、いくつかの色を指定して、少しでも華やかに感じられるように工夫しました。最終的には5色のカラーを使うことになりました。

さあ、出来上がるまでハラハラ・ドキドキですね！

レイアウト作業

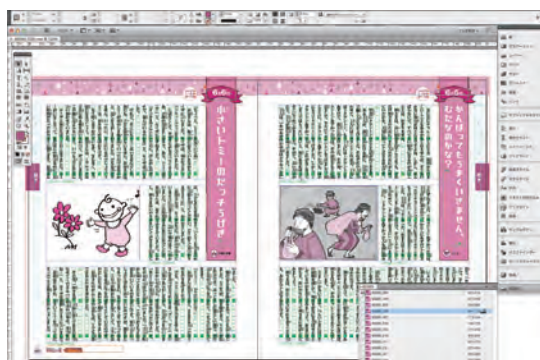
さて、いよいよレイアウトです。

聖書に親しみをもって欲しいからこそまじめ一辺倒ではなく、イマドキの子どもたちにも楽しんでもらえる本にしたい。どんなデザインにするか、大いに悩みました。

かつては、印刷会社がデザイナーや編集者の指示に従い、手作業で「版下」づくりを行っていました。しかし、現在は「DTP」といって、コンピューターを使ってデザイン、レイアウトの作業をし、完成データを印刷会社に出すようになりました。ぎりぎりまで修正できるのはうれしいのですが、それだけ作業量が増えます。

『ベッドタイム ストーリーズ365』はデザインとレイアウトを1人の担当者が受け持ちました。

通常、レイアウト作業は、文字原稿がすべて整理されてから入るのですが、すでに10月末。印刷会社にデータを出すのが1月末と決まっているので、仮の文字原稿で作業し、校正作業と同時進行することになりました。つまり、直しが入るたびに文章修正作業もレイアウト担当者の仕事になります。漢字表記に変更が出た場合は、全文を検索しながら修正……。おまけに今回はふりがな付きです。連日、夜中までコンピューターのディスプレイにとらめっこ。すべては子どもたちの笑顔を見るためです。



レイアウト作業

カバーデザイン（装丁）も悩みました。正式なタイトルが決まる前に、12月中旬には宣伝用のチラシをつくらなくてはいけなくて、おおあわて。「新しくてなつかしい……」という広告のキーワードに則って、下村テルサさんのイラストをたくさん並べてみたらチラシのデザインとして合格！ 結局、そのまま表紙としても使うことになりました。

ページごとにイラストを配置していくのですが、若いイラストレーターたちは全員女性。どうしてもガーリーな絵が多くなってしまいます。男の子にも喜んでもらうにはどうしたらいいのか。

悩んだ末に、各月のとびら絵に電車や自動車、ボールなどを描きました。ついでに、「探し絵」の要素を盛り込んでみました。わかる子だけが、くすっと笑ってもらえたらうれしい……。

本文の枠線も、マウスで手書き風に描いています。コンピューターでまっすぐな線は簡単に引けるのですが、そこはあえて、人の手で作業した、あたたかさを残すことにしました。

ココがスゴイ！

『ベッドタイム ストーリーズ365』の「ココがスゴイ！」についても、こっそりお伝えしましょう。この豆知識を知っていれば、あなたもりっぱな「365通」です！

【ココがスゴイ1 b7】

365は子どもに長く親しんでいただけるように、本を頑丈に作ることを意識しました。

＜上製本・糸かがり製本＞

（いわゆる丈夫な製本の代表選手。糸かがり製本とは、本

文用紙を接着剤でなく丈夫な製本糸で固定する方式）

でも、丈夫にすればするほどすごーく重たい本になってしまいます。

そこで、本文用紙に使用したのが「b7」。強度と厚みはあるのに、非常に軽量の優等生の用紙です。このb7を使用することで、総頁が400ページ以上もある書籍なのに、完成品の重量は1.35kg以内におさまりました。お母さんがお部屋の中なら楽に持ち運べる重さまで抑えることができました。

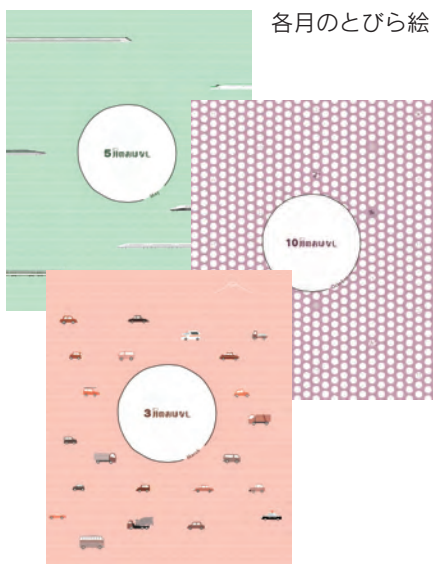
【ココがスゴイ2 「しおり」が付いています】

この本のカバーの一部ははさみで切り取って「しおり」として使うことができるようになっています。これを使えば子どもたちにも、自分がどこまで読んだかすぐにわかりますね。



【ココがスゴイ3 カバーをはずしたら……】

カバーを外してみてください。ページのイラストを描いてくれたイラストレーターさんたちの絵がいっぱい表紙に並んでいますよ。これは、カバーをはずさないといけない、隠れた特典ですね～。



【ここがスゴイ4 新宿で購入できます!】

福音社の本を置いている書店は都内でも少なく、本を実際に手にとって見ていただくことができませんでした。でも、たくさんのご厚意をいただいて、なんと！新宿南口の「オアシスブックセンター新宿店」の中に福音社のコーナーを設けていただくことができ、実際にこの本を手にとって見ていただくことができます。スタッフ一同も本当に喜んでます。新宿以外にも、お茶の水のCLCでもお買い求めいただけます。



こうして、『ベッドタイム ストーリーズ365』をようやくみなさまのもとに届けることができました。制作に関わったスタッフの想いはただひとつ。『多くの子どもたちが、笑顔で読んでくれること』それが私たちの夢であり、大きな希望です！

ぜひ、『ベッドタイム ストーリーズ365』をお友だちにご紹介いただき、ベッドタイム・ワールドを大きく広げることができればと心から願っています。

この資料は、2016年3月、4月に福音社のFacebookに連載されていたものをまとめたものです。一部修正加筆しています。



ベッドタイム ストーリーズ365の特設ページを公開中です。

<http://bd365.fukuinsha.com/>

重要!

『ベッドタイム ストーリーズ 365』は、現在福音社で販売している『ベッドタイム ストーリーズ』3巻セット、販売終了している旧3冊セットと同じお話は収録していません。

販売終了している5冊セットから2話掲載されているだけです。

すでにお持ちの方でも楽しむことができます。

時代を超えて語り継がれる
子どもたちに聞かせたい
365話のショートストーリー



発見する力・みんなを幸せにする力・正しく選ぶ力を育てる
ベッドタイム ストーリーズ365

AB判(上製本)/416頁

1日1話1頁/366話(365話+うろう日1話)

本体価格2,800円+税

知る楽しさや発見するよろこびを刺激する「知育」。自分と他人を幸せにする力を養う「徳育」。心身の健康を保つための指針を示す「体育」。この3つの力をバランスよく育てることは、子どもたちの「生きる力」を育てることにつながります。この本は、この三本柱をはぐくむ物語で構成されています。